

令和2年度 第2回安曇野市図書館協議会 会議概要

1	審議会名	令和2年度 第2回安曇野市図書館協議会
2	日 時	令和2年10月27日 午後1時30分から午後3時50分まで
3	会 場	安曇野市穂高交流学習センター 多目的交流ホール
4	出席者	初谷委員、田守委員、古川委員、樋口委員、鈴木(研)委員、小笠原委員、鈴木(健)委員、黒澤委員
5	市側出席者	平林教育部長、山下文化課長、遠藤豊科図書館長、金子三郷図書館長、伊藤堀金図書館長、青木明科図書館長、高嶋中央図書館長、奈良澤係長、松下主任
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人
8	会議概要作成年月日	令和2年11月6日

○会議の概要

- 1 開会 (山下課長)
- 2 あいさつ (平林教育部長)
- 3 協議事項
 - (1) 令和2年度 安曇野市図書館事業進捗状況について
 - (2) 令和3年度 安曇野市図書館事業計画方針(案)について
 - (3) 令和2年度 安曇野市図書館概要について
 - (4) 質問事項への回答について
 - (5) その他
- 4 その他
- 5 閉会 (山下課長)

3 協議事項概要

- (1) 令和2年度 安曇野市図書館事業進捗状況について

議 長 協議事項1 令和2年度安曇野市図書館事業進捗状況について事務局よりお願いしたい。

事務局より説明。

議 長 委員から質問又は意見があったらお願いしたい。

委 員 資料1の説明で、中止になった活動が非常に多いが、一方では明科図書館のひまわり講座は大変好評だったようなので、そういったものをビデオに撮っておいて、図書館のホームページなどから視聴できるようにする。あるいは、おはなし会なども含めて動画配信することは検討できないか。

事務局 まず心配になるのは著作権の問題である。例えば本の読み聞かせは著作権の問題があるので、

許諾の部分がクリアできれば、将来的には考えていけると思う。

委員 講演会などは、講演者の了解が得られれば可能と思われるがいかがか。

事務局 講演を生業にしている方からは、許可を取るのが難しいと思われる。

委員 例えば市の職員などは可能と思われるので、前向きに検討していただきたい。

事務局 全てに許可が出るわけではないということをご承知いただき、前向きに考えていきたい。

(2) 令和3年度 安曇野市図書館事業計画方針(案)について

議長 協議事項2、令和3年度安曇野市図書館事業計画方針(案)について事務局よりお願いしたい。

事務局より説明

事前提案及び要望について各委員より説明あり

委員 図書館フェスタと関連してリサイクル本の配布について、提案をお話させていただく。

コロナ禍が続いていると考えると、大きなイベントの開催は無理と思われる。そこでそのイベントの目的が達成できるような方法を考えてみた。図書館フェスタの目的は、利用者に図書館に来てもらい、より多くの人に本に触れてもらうことだと思う。問題は、2日間の開催では3密状態が回避できないということ、そして、この時期には他のイベントが多くかぶってしまうことがあるということである。

そこで対応策として、大きなイベントでは無く小さなイベントを、中央館だけでなく分館も含めて沢山実施する。具体的には、定例的に開催するという事で、館内整理日の翌日になる月末の土日などはどうか。狙いは来館者の集中回避と平準化、職員負荷の分散ということである。名称も考えてみたが「週末図書館」などどうか。内容としては、司書のビブリオバトルを行い、ビブリオバトルの普及と本の紹介ということにすればどうか。これも「押し本バトル」など名称を変えても良い。あと、「本を読む会」を土日にやれば大人も参加しやすいと思う。それから、地域で活躍する人の紹介の場ということで、農業とかITとか子どもの支援とかで、活躍されている方を紹介する場を作ればどうか。そうすれば、図書館とのつながりや地域の方同士のつながりなどが生まれてくるのではないか。もう一つ、学校での活動を紹介すればどうか、部活動などプレゼンでなくポスター展示でも良いと思う。

次に、リサイクル本の配布であるが、目的は除籍本の活用と集客にあると思っている。図書館フェスタでは3密になってしまうので、前出の週末図書館、毎月一回、又は、日曜日毎に開催などどうかと思う。開催はイベント性も期待できると思うので、本年度1月末に開催する予定のリサイクル本の配布について、各館の集客状況などを見ながら考えていけばどうか。

議 長 事務局の方からお願いしたい。

事務局 3密回避のご提案、職員によるビブリオバトルの開催など参考にさせていただきたい。

委 員 提案について説明させていただく。まず、図書館運営について、ワークショップを開催し意見の集約をする中で、具体的な方向性を明らかにしていくということはいかがか。

次に、安曇野市中央図書館が開館する前に、市民参加の選書ツアーが開催されたが、選書のあり方を振り返るということで再開は考えられないか。

先日の図書館大会に出席したが、コロナ禍や電子化などこれからの図書館のことが話題になっていたので、市民参加のもとに今後の図書館の在り方を考えていくことはできないか。

議 長 他に質問、意見があったらお願いしたい。

委 員 資料の推進事業の項目に、複合施設の特徴を生かした連携をしていくとあるが、具体的な事業はあるか。

議 長 事務局より具体的な計画があったらお願いしたい。

事務局 各館で施設環境が違うので、ケースバイケースで計画していきたい。具体的には、図書展示や明科図書館の児童館との連携を考えている。

委 員 具体的にはこれからということだが、複合施設の特徴を生かした事業は活発に行っていく必要があると思う。例えば、小説とか随筆とか安曇野に関係したもの、それに関わる写真なども含めて展示したり、講演会を開催する。あるいは、市内には、音楽関係の方も多と思うので、演奏会の開催と内容に合わせた図書の展示なども考えられるのではないか。いろいろ計画して推し進めてほしい。

議 長 事務局の方でいかがか。

事務局 具体的な計画を進めていきたい。

(3) 令和2年度 安曇野市図書館概要について

議 長 続いて、令和2年度安曇野市図書館概要について、事務局よりお願いしたい。

事務局より説明。

議 長 意見、質問ございますか。

委 員 まず、この資料を図書館のホームページで公開する予定があるかどうか。次に、資料の中が元号で記載されていて分かりづらいので、西暦で記載するように統一できないか。記載内容で、貸出点数の単位に誤りがある個所を訂正願いたい。それから、蔵書点数・個人登録率・利用者数・一人当たりの貸出点数は、市民にとって興味のあるデータだと思うが、蔵書数と年間利用者数については5カ

年の経過が別に記載されているが、個人登録率と市民一人当たりの貸出点数については記載が無いので、5カ年の経過が分かるような記載をお願いしたい。最後に、資料の中にDVDやカセットという項目はあるが、ブルーレイという項目は無いので、購入について検討していただきたい。

議長 事務局の方でお願いしたい。

事務局 統計資料については、基本的に県立長野図書館のホームページに掲載されている事項であり、また、本日の資料ではボリューム的にも多いので、選抜して市のホームページへ掲載していくことは可能だと思う。西暦記載については、官公庁の規定で問題が無いかどうか検討させていただきたい。ご指摘の誤記の部分については訂正させていただく。ご要望をいただいた5カ年の経過の記載については、個人登録率について登録状況を精査させていただいた上で作成させていただきたい。ブルーレイの購入については、許諾の部分を確認しながら検討していきたい。

議長 他にありますか。

委員 第2次安曇野市図書館基本計画のサービス目標と現状で、蔵書数など既に目標値が達成されているものについて説明を願いたい。

議長 事務局の方でお願いしたい。

事務局 目標値の再設定については、基本計画を組み直す段階になるかと思うが、図書館は資料が基本となるので、その新鮮度など10年後を見据え継続的に考え取り組んでいきたい。

委員 目標値を達成しているからには見直しが必要と考えるので、期日も含めて目標値を見直す予定を表明していただきたい。

委員 目標値が幾つかある中で、達成した項目をこれからどうするかということも大事かもしれないが、未達成の項目に集中して取り組んでいく方が良いのではないか。

議長 このことについて他に何かありますか。

委員 単純な疑問ですが、目標の最後の年度が平成39年度となっているが、平成が続くという想定なのか。括弧書きで西暦を記載しておいてはどうか。それから、蔵書数が、令和元年度に目標値を超えてしまっているが、蔵書数を減らしていくということなのか説明願いたい。

委員 数値目標を管理値と捉えて、管理値が達成されれば管理値として扱わないということがあるので、現状から見直すということを明らかにしていただきたい。

議長 事務局の方からお願いしたい。

事務局 基本計画については、毎年進捗状況を確認しながら中間評価を行い、修正すべきところは修正して進めていきたい。

議長 目標については、中間評価で修正もあり得るということによろしいか。それから先ほどの質問

についてはいかがか。

事務局 元号の標記についてはご指摘のとおりかと思うが、安曇野市の教育に関する計画は平成29年度に策定されており、市の総合計画に合わせて10年計画で作られているためこのような記載になっているが、見やすさということもあるので考えさせていただきたい。

議長 他に何かありますか。

委員 時間が迫ってきているので、その他と捉えて質問してもよろしいか。

議長 どうぞ。

委員 私は読み聞かせのボランティアをしており、子どもとの関わりの中でいろいろ思うところがある。市民がリアリティを感じることができる場として、資料の中にもある、様々な学びの場としての図書館サービスということで、図書館が美術館や博物館と連携してリアリティのあるイベントを作っていくことが大事ではないか。組織図にもあるが文化課内の身近なところで情報交換ができると思う。既に実施されている部分もあるが、さらに拡大して広範囲に取り組んでほしい。

議長 今の件は、図書館等のコラボレーションで、事業を計画していくというアイデア提案ということでもよろしいか。では、安曇野市の図書館概要については他によろしいか。

委員 資料の組織図で、文化課の下にあるブロックについて、関係が分かるように線で明示していただきたい。職員数の表については、司書及び司書補の数は総数の横に括弧書きの方が分かりやすい。

議長 事務局の方から、補足と確認をお願いしたい。

事務局 組織図について、ご指摘いただいた事項をそれぞれ見やすいように考慮させていただきたい。

(4) その他

議長 次に、質問事項への回答をお願いしたい。

事務局より説明。

事務局 コロナ禍で、本の消毒器の導入を考えているかのご質問をいただいたが、現在市販されているものは、本を紫外線と風、消臭抗菌剤で消毒するというものであるが、紫外線と消毒液による紙の劣化、ウイルスに対する有効性が未確認、機器が高額である、などの理由により当面は見合わせることにしている。

次に、書籍の購入の体制と運営についてということで、組織の名称・構成メンバー・人数のご質問ですが、組織の名称は特に無く選書会と言っている。構成メンバーは、各館の館長と図書館職員となる。人数は、中央館では8名になるが、少人数の館では全員で選書している。この会の開催頻度であるが、各館では週に1回開催しており、これとは別に月に1回全体の選書会を開催している。

書籍購入の原則については、安曇野市図書館資料収集要綱、選書基準、安曇野市選書のあり方ガイドライン及び安曇野市特色ある資料収集計画に従っている。

(ここに書いてあることは全て読んだので、次に進めてほしい旨の声有り。)

事務局 ではお読みいただいたということで、質問に移らせていただく。

議長 資料にある提案に入る前に休憩を取らせていただく。会議時間が伸びているので、なるべくまとめて質問をいただきたい。質問事項のところはよろしいか。

委員 図書購入の関係だが、私は、ある図書館の本を借りる割合が高いが、ある館の司書が選書した本は、その館に入るということになるのか。

議長 事務局の方でお願いしたい。

事務局 副本の有無や館別の収集傾向などを踏まえ、選書した司書の館に入る場合もあるし他の図書館に入る場合もある。

委員 選書のプロセスは分かったが、以前から文学関係や語学関係が多く、社会科学関係が少ないと感じている。そして、選書のガイドラインを見ると、中央図書館は基本図書を重視していると書かれている。基本図書とは、その学問の分野で勉強するには読んでおかなければいけない本ということだが、その辺が手薄であると感じたので、優先的に補充していただきたい。

また、見識と風格ある図書館づくりには、いろいろな知恵を結集してよりよい資料収集をしていく必要を感じるので、前出の選書委員会というのは一つの方法かと思う。

そんなことでしっかりした本を選定していく姿勢持っていただくとともに、実現するためのシステムを検討していただきたい。

議長 事務局の方からありますか。

事務局 社会科学の分野で基本図書の不足を感じておられるようなら、不足する部分のリストをお出しいただき参考とさせていただきます。

委員 リクエストには制限があるが。

事務局 選書の参考とさせていただくリストなので、リクエストとは別に扱わせていただく。選書会については、週1回のペースに外部の方が参加するのは難しいと判断され、実際に近隣の図書館でもそのような事例は無い。外部の方からは、リクエストと言う形で情報提供をいただき、選書の参考とさせていただきます。

議長 この項目についてはよろしいか。ここで5分間の休憩を取らせていただく。

(5分間の休憩)

議長 それでは再開させていただきます。ご提案について、事務局からの回答ということで進めさせて

いただく。

事務局 前段については記載のとおりであるので、ご一読いただきたい。

ホームページの機能でご提案いただいた、Web上で自分が読んだ本の履歴など見るようになるのは、システム更新時に実現させる予定で進めている。また、画面構成の指摘事項については修正済み。

広報活動についてのご提案では、予算が伴うものについては実現が難しい状況である。ツイッターの関係では、まず市の公式ツイッターの活用を図り、次の段階で図書館の公式ツイッターの導入を検討したい。レファレンスについては、今年国立国会図書館の共同データベースに参加することになり、徐々に公開しながらPRに努めていきたい。

次は、ご要望に移らせていただく。

委員からのプレゼンの時間の確保とプロジェクターの用意のご要望をいただいたが、図書館協議会の中では時間が取れないので、前出のワークショップの開催を検討させていただき、図書館運営に活かしていきたいと考えている。

議長 ワorkshopの開催はだいぶ先進的に感じたが、他に何か質問は。

委員 Web上で貸出履歴が表示される件については、近隣図書館で非常に便利な機能を持ったシステムが運用されているので参考にさせていただきたい。

議長 便利な機能を持ったシステムの導入を検討していただきたい。他には。

委員 この会議の会議録を、送付される資料に同封できないか。

議長 事務局の方でいかがか。

事務局 次回から同封させていただく。

議長 他に何かありますか。

委員 各館では特色ある選書をしているという話なので、PRをして他館にも興味を持ってもらい利用につながるような取り組みをしてどうか。今日の会議に参加して、事前にもらった資料に基づいて事前にできたであろう質問があったので、時間短縮のためにも事前にきちんと質問ができたらと思った。

議長 他はよろしいか。

委員 図書館に選書のリクエストをする場合には、どんなものを参考にすればよいか。現状の選書に対する評価はどうか、また、選書についてこんな風に考えているというものがあればお話をいただきたい。

議長 事務局の方からお願いしたい。

事務局 実際には本の内容を確認いただくという意味で、書店で見えていただくのがよろしいかと思う。

選書の評価については、現在行っている選書が今評価されるわけではなく、10年20年後に正しかったか評価されると思う。図書館に有るべきはずの本が無かったと言われる辛さは、評価として重々感じているところでもある。

議 長 それでは時間の制限もあるので、この件についてはこの辺でよろしいか。

(5) その他

議 長 次に、その他について事務局からありますか。

事務局。特に無し。

議 長 本日本日予定した内容については全て終了したので、協議事項について閉じさせていただく。

以上